【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2012-87780(P2012-87780A)
【公開日】平成24年5月10日(2012.5.10)
【年通号数】公開・登録公報2012-018
【出願番号】特願2011-169844(P2011-169844)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｂ　39/00　　(2006.01)
Ｆ０４Ｃ　29/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｂ　39/00　　１０６Ａ
Ｆ０４Ｃ　29/00　　Ｂ
Ｆ０４Ｃ　29/00　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月9日(2014.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
圧縮機構部と、当該圧縮機構部を駆動する電動機とを備える電動圧縮機と、前記電動圧縮機の中心軸方向に搭載され前記電動機を作動させるインバータ装置とから構成されるインバータ装置一体型電動圧縮機であって、前記インバータ装置に前記電動機との電気的な接続を行うための圧縮機ターミナルを設け、この圧縮機ターミナルは前記電動圧縮機側に面するように設けるとともに前記電動機からのハーネスコネクタを接続する部分に当該ハーネスコネクタと略同形状の固定部を備え、この固定部に前記ハーネスコネクタを嵌合させることにより当該ハーネスコネクタと圧縮機ターミナルとが位置合わせされて両者が着脱自在に接続されるインバータ装置一体型電動圧縮機。
【請求項２】
前記圧縮機ターミナルの端子が、前記インバータ装置の回路基板に設けられた位置決め穴により、端子の方向を規制されることを特徴とする請求項１に記載のインバータ装置一体型電動圧縮機。
【請求項３】
前記電動機の前記インバータ装置側に前記ハーネスコネクタが嵌合する形状の固定部を備え、この固定部にハーネスコネクタを保持する機構を持たせたことを特徴とする請求項１または２に記載のインバータ装置一体型電動圧縮機。
【請求項４】
前記圧縮機ターミナルに前記ハーネスコネクタを取付け、さらに前記電動機の筐体により前記ハーネスコネクタを前記圧縮機ターミナル側に押圧する構造を持つことを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載のインバータ装置一体型電動圧縮機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】

前記従来の課題を解決するために、本発明のインバータ装置一体型電動圧縮機は、圧縮機構部と、当該圧縮機構部を駆動する電動機とを備える電動圧縮機と、前記電動圧縮機の中心軸方向に搭載され前記電動機を作動させるインバータ装置とから構成されるインバータ装置一体型電動圧縮機であって、前記インバータ装置に前記電動機との電気的な接続を行うための圧縮機ターミナルを設け、この圧縮機ターミナルは前記電動圧縮機側に面するように設けるとともに前記電動機からのハーネスコネクタを接続する部分に当該ハーネスコネクタと略同形状の固定部を備え、この固定部に前記ハーネスコネクタを嵌合させることにより当該ハーネスコネクタと圧縮機ターミナルとが位置合わせされて両者が着脱自在に接続される構成としてある。